

赤羽国土交通大臣と宮城県観光関係者との意見交換会に参加しました（2020年9月13日）

仙台市の秋保温泉で赤羽一嘉国土交通大臣と観光関係者との意見交換会が開かれ、東観推より松木会長が出席しました。松木会長からは、コロナ禍をふまえた東北・新潟域内での流動促進として、「東北・新潟応援！絆キャンペーン～旅を楽しもう～」や、9月7日の各県知事等による「東北・新潟共同メッセージ～東北・新潟の魅力再発見する旅にでかけよう～」などの取組について説明しました。



【意見交換会】



【松木会長による説明】

「東北・新潟応援！絆キャンペーン～旅を楽しもう～」の情報発信に取り組んでいます

【まちくる仙台での絆キャンペーン動画放映開始】

9月14日より、一般社団法人まちくる仙台様に御協力いただき、仙台市アーケード商店街（藤崎隣）内の大型ビジョン（まちくるビジョン）で、絆キャンペーン動画が午前8時～午後8時までの間毎時5分より放映されています。今年中は放映いただける予定となっておりますので、アーケード商店街にお越しの際は是非ご覧ください。



【東北・新潟タウン誌ネットワークを活用した記事出稿】

東北・新潟7県8誌のタウン誌ネットワークを活用し、各誌10月号（9月末発売）に同内容の記事を出稿しました。タウン誌の強みである地元のグルメ情報を掲載し、食の魅力と周辺の観光地を合わせて紹介しております。



地域の魅力的な観光コンテンツ、着地型の旅行商品等を絆キャンペーン特設サイトに順次掲載中です！他にも「**着地コンテンツ商談会**」（11月頃開催予定）や、既に開設済の**東北デスティネーションキャンペーン（DC）「オンラインマッチングサイト」**など、様々な機会や手段を通じて、**地域の魅力的なコンテンツをセールスすることができます**。皆様からのご連絡をお待ちしております！



東北・新潟応援！
絆キャンペーン
～旅を楽しもう～



動画の閲覧と、SNS等での拡散をお願いします。

特設サイト <https://www.tohokukanko.jp/kizuna>

＜お問い合わせ先＞ 事業推進部 菅野・本多 022-721-1291

suishin@tohokutourism.jp



【ポスター】

※上記ポスターデータは
キャンペーン特設サイトから
ダウンロード可能です。

Go To トラベルキャンペーンの「地域共通クーポン」制度を是非ご活用ください

10月1日以降出発日より利用開始となった「地域共通クーポン」について、利用可能な施設がインターネットの地図上で検索できるサービスが開始されています。スマートフォンの位置情報機能を使って現所在地周辺の店舗が表示されるほか、「飲食店」「小売」「観光施設」などの業態別に調べることもできます。クーポンの利用促進と消費喚起のために、是非ご活用ください。 <https://goto.jata-net.or.jp/coupon/>

「第6回ジャパン・ツーリズム・アワード」に「冬の東北」のブランド化の取組が入賞しました（2020年9月17日）

このたび、「第6回ジャパン・ツーリズム・アワード」において、東観推の「『冬の東北』のブランド化と周遊ルート確立に向けた広域連携による取組」が入賞に選定されました。本アワードは、ツーリズムの発展や拡大に貢献し、国内・海外の団体等の持続可能で優れた取組を表彰するもので、受賞取組をモデルとしてさらなるツーリズムの発展に寄与することを目的としています。

東観推は、「広域連携DMO」としてオール東北での観光推進体制の中心的役割を担い、官民一体となってこれまで様々な取組を実施してまいりました。本取組が入賞に選定されたことは、これまでのオール東北の取組に一定の評価をいただいたものであり、大変嬉しく受け止めております。今後、これまでに積み上げた取組・成果をより深度化させてまいります。



東北デスティネーションキャンペーン 旅行会社向けエクスカージョンを実施しました（2020年9月2～4日）

当初6月に予定していた全国宣伝販売促進会議・エクスカージョンの代替事業として実施し、旅行会社の商品造成担当者（協賛会社、JR各社含む）99名が参加しました。商品素材説明会およびエクスカージョンを6コースに分け、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から1コースあたりの参加者数を最大20名までとし、参加者・受入側双方で検温や手指消毒、マスク・フェイスシールド着用等の感染防止策を講じながら実施しました。



【観光素材説明会
（手業体験）】



【弘前れんが倉庫美術館】

＜参加した旅行会社の感想＞

- ・検温や入場制限など対策をしっかりとやっていて安心した。
- ・現地施設の連絡を取っている方と実際にお会いできてよかった。造成でも活かしていきたい。
- ・被災後、初めて福島県浜通りに足を運ぶことが出来たので、有意義な時間となった。今後の情報共有も積極的に行って欲しい。

＜地元受入側の感想＞

- ・久しぶりの商談会で、直接PRする機会を得られて嬉しい。
- ・新様式でのおもてなしを実際に体験いただき、受入側としても感触がつかめた。新様式について旅行会社側の考え方や事例などを参考にすることができた。
- ・コロナ禍のなかエクスカージョンの実施を決断してくれたことは非常にありがたい。

今後は、旅行会社へのキャラバンなど商品造成に向けたフォローアップを続けるとともに、機運醸成を目的とした東北DCサポーターサイト（地元おもてなし隊など）を展開してまいります。



【さんさ踊り視察
（つなぎ温泉紫苑）】



【秋田犬の里】



【致道博物館】



【フルーティアふくしま
（喜多方駅）】

訪日旅行を取り扱う旅行会社やランドオペレーター等の招請を行いました（2020年9月15～19日）

【北東北三陸コース】

既に東北の旅行商品の造成経験があり、新たなコンテンツを探している旅行会社やランドオペレーター等を対象に、招請ツアーを実施し、三陸地方を含む北東北のコースを視察していただきました。参加者は、岩手の三陸地方を訪れるのは初めてという方が大半でしたが、久慈の琥珀博物館の視察や、宮古でのサッパ船の体験を通じて、三陸地方のコンテンツの魅力を感じていただきました。



【サッパ船遊覧】

【北東北ゴルフコース】

SIT（Special Interest Tour：目的に特化した旅行）を求める市場の旅行会社やランドオペレーター等向けに、招請ツアーを実施し、ゴルフコースを含めた北東北のコースを視察していただきました。参加者からは、視察したゴルフ場に関して、ホテル直結のゴルフ場だけでなく、冬はスキー場が直結であることは大きなメリットであるというご意見をいただきました。



【電石プリンスゴルフ場】

今後、各地の事業者の皆様と連携し、より多くの商品造成をいただけるよう努めてまいります。

北東北・南東北ゴールデンコースの招請を行いました（2020年9月27日～10月1日）

主に東北の商品を造成したことがない旅行会社やランドオペレーター等を対象に、東北の商品を造成していただくため、招請ツアーを実施し東北のゴールデンコースを視察していただきました。

【北東北コース】

北東北コースでは、青森県・岩手県・秋田県・宮城県を周遊しました。参加者からは、東北観光で定番の観光施設においても新たなコンテンツを発見できて良かったという声が上がりました。また、各施設が実施している新型コロナウイルス対策に係る工夫も見えていただき、安心感があるとの評価をいただきました。

【南東北コース】

南東北コースでは、宮城県（仙台市）・山形県・福島県を周遊しました。南東北観光で定番のコンテンツ（最上川船下り、赤べこの絵付け体験等）を体験していただき、商品造成の参考としていただきました。参加者からは、体験もののコンテンツはどの市場にも受けが良いと思うので、商品造成を頑張りたいという意見をいただきました。



【中尊寺】



【最上川舟下り】

海外富裕層事業として、旅行会社招請（2020年9月27日～10月1日）と 域内関係者への富裕層マーケット報告会（9月25日、10月2日）を行いました

【旅行会社の招請】

海外富裕層の商品造成提案を担う国内旅行会社向けに、富裕層ニーズにマッチした東北の観光資源の視察を通じて東北の良さを知っていただき、また旅行会社と東北の観光事業者との関係も構築することで商品造成や誘客につながることを目的として、北東北をエリアとした招請および意見交換会を実施しました。

十和田湖を貸切状態でサンライズカヌーや、秋田内陸縦貫鉄道の貸切車両にて秋田舞妓列車、プライベート手配での西馬音内盆踊りなど特別なコンテンツを体験いただき、食事は奇跡のりんごを使用したフレンチ（レストラン山崎）や岩手の食材を全て南部鉄器で調理したコース料理（ONODERA）など地産地消の食を堪能いただきました。参加者からは、富裕層向けにオーダーメイド手配する際の知識向上となったと大好評でした。10月27日から31日にかけて南東北コースの招請を実施いたします。同様に高評価となるよう取組んでまいります。



【十和田湖サンライズカヌー】



【秋田舞妓列車】



【意見交換会】

【富裕層マーケット報告会】

前年度事業の富裕層マーケットに関する調査により把握した富裕層旅行者ニーズを東北域内で共有し、地域関係者の理解を促進する為の報告会をオンラインにて開催しました（参加者数 9/25：52名、10/2：38名）。富裕層市場の特徴やニーズ・受け入れ先に求められている事を調査結果に基づき報告を行い、また欧米富裕層を顧客に持つ旅行会社やVIP顧客を案内するガイドとディスカッションを行い、「富裕層の旅とはどのような旅か」また、「富裕層の旅が東北にもたらすもの」などを報告しました。参加者からは「東北における課題の共有や有識者による経験談が今後活動の一助となる」と好評をいただきました。

インドネシアの有力旅行会社AntaVayaとのオンライン会議を行いました （2020年9月15日）

インドネシアにおける主な旅行シーズンは「レバラン休暇」（ラマダン明け：今年は5月）と「年末年始休暇」で、この時期の訪日旅行が多いことから、冬のデスティネーションとして東北の魅力を発信しました。

新型コロナウイルスの収束の見通しが立たないものの、インドネシア人の海外旅行意欲は高く、既に渡航が可能となっているトルコへの送客を行っているとのことで、いずれ日本との往来が再開すれば日本への需要も高まることが期待できます。



【オンライン会議の様子】

中国の旅行会社とのオンライン会議を行いました（2020年9月23日）

中国の旅行会社3社とWEBミーティングを実施し、最新状況等の情報交換を行いました。今回WEBミーティングを実施した現地旅行会社は昨年度招請事業等でお呼びした3社で、次年度以降の継続的な関係性構築も目的としています。現地旅行会社からは、訪日旅行再開予想時期や中国国内旅行の動向などをヒアリングし、訪日旅行再開の厳しい見通しが示されました。今後も継続的な意見交換を進めてまいります。



【オンライン会議の様子】

台湾の旅行会社との3回目のオンライン会議を行いました（2020年9月29日）

台湾の現地旅行会社6社と3回目のオンライン情報交換会を実施し、東観推からは東北が「密」ではない状況にあることや、感染防止対策等について説明しました。現地旅行会社からは、「単県ベースではなく、東北周遊の商品を対象にした助成制度があると良い」「台湾国内では自然豊かな東部への旅行が人気。東北も自然に恵まれているので、今後改めて注目されると思う」等といった声が寄せられました。また、第2回目のオンライン会議の様子が台湾の旅行業界誌「旅報」に掲載されました。今後は意見交換会を発展させ、オンラインによる東北セミナーの開催に向け関係機関等と調整してまいります。



【旅行業界誌へ掲載された第2回オンライン会議の様子】

「日本博」での東北観光情報の発信を行いました（2020年9月11～13日）

日本の文化芸術の振興や魅力を発信する文化庁の事業「日本博」の一環として明治神宮で開催中のプロジェクト「神宮の杜芸術祝祭」において、日本航空株式会社や東北各県と連携し、「オール東北」で首都圏における東北の観光情報の発信を行いました。



【会場入り口】



【東観推ブース】

第五期フェニックス塾入塾式を開催しました（2020年9月17日）

宮城県仙台市ホテルメトロポリタン仙台において、第五期フェニックス塾の入塾式を開催し、37名が入塾しました。

入塾式では松木会長から塾生代表へ入塾証書を授与し、塾生代表として公益財団法人仙台観光国際協会のジャスティン・ベルガスさんより、東北とのつながりや活動内容、フェニックス塾参加に対する意気込みを発表していただきました。その後、松木会長が「コロナ禍により観光を取り巻く環境も一変しているが、『オール東北』で取り組むことが重要であり、フェニックス塾を通して観光のスペシャリストとして力をつけてほしい」と激励の挨拶を行いました。続いて開催した第1回塾では、紺野専務が東北の現状と東観推の取組について説明しました。



【入塾式】

「東北観光シンポジウム」で紺野専務が講演しました（2020年9月24日）

一般社団法人地域創生協議会主催のシンポジウムにて、紺野専務が亀山東北運輸局長、三林JR東日本仙台支社長とともにパネラーとして参加しました。「東北観光の活性化について～with コロナ下での東北観光の動向と方向性～」と題して、現在展開中の「東北・新潟応援！絆キャンペーン」や2021年4月からの「東北DC」など、東北観光の活性化についてお話ししました。



【講演の様子】

国際教養大学で紺野専務がオンライン講義を行いました（2020年9月25日）

JR東日本秋田支社寄附講座「東北の持続可能な地域観光」の一環として、同大学生向けに「東北観光の活性化について～with コロナ下での東北観光の動向と方向性～」と題してオンライン講義を行いました。学生の皆さんからは「コロナ禍をふまえた新しい観光」等について積極的な質問があり、紺野専務より「コロナ禍で注目される東北の自然や精神文化などのコンテンツを活かしたロングバケーションや現代版の湯治など新しい仕組みづくりの重要性について説明しました。



【オンライン講義の様子】

冬の東北誘致部会を開催しました（2020年9月30日）

東北6県のスキー場、宿泊、交通に係わる事業者及び東観推の26名が参加し、2020年度第1回冬の東北誘致部会を開催しました。

部会では「冬の東北」アクションプラットフォーム構築の進捗、国内・海外プロモーション施策等について説明し、実施内容についてご意見をいただきました。

また、コロナ禍における各事業者の現状と取組内容を共有することで、東北全体でのノウハウを共有し、オール東北での受入環境整備の底上げ、連携強化を促進しました。引き続き「冬の東北」のブランド化に向けて取り組んでまいります。



【アクションプラットフォーム】

今後開催予定のセミナー等について

【東北教育旅行セミナー（オンライン）】

本年度中止になった「東京セミナー」「福岡セミナー」の代替案として、東北教育旅行誘致部会や、東北域内の関係者と一体となったオンラインセミナーを開催致します。是非、ご参加をお待ちしております。

- ・第1回
11月20日（金）10:00～17:00
※東北域内関係者向け
- ・第2回
2021年1月21日（木）10:00～17:00
※全国の方々向け
- ・定員：各1000名様



【アドベンチャートラベル・ワールドサミット 2021北海道（ATWS） 東北エクスカーションコース募集】

2021年9月に北海道で開催されるATWSについて、東北をエリアとした公式エクスカーションコースを募集しております。ATWSに集まる世界中の旅行会社との関係構築やメディア情報発信を通じ、アドベンチャートラベルの目的地として東北地方の認知度を高めるチャンスです。是非ご応募ください。
応募締切：10月30日（金）17:00
応募方法：電子メール

詳しい内容・申込は、東観推ホームページをご覧ください。

<https://www.tohokukanko.jp/business/topics/index.html>

東北観光推進機構の人事異動について

東北観光推進機構推進本部において人事異動がございましたのでお知らせいたします。

- <転入 10月1日付> 総務渉外部チーフ 塚田一毅（東北電力より着任）
- <転出 9月30日付> 事業戦略部チーフ 齋藤健太（東北電力へ帰任）
- <推進本部内異動 10月1日付> 事業戦略部チーフ 相楽純（総務渉外部より異動）

多言語電話通訳サービス 外国人旅行者とうまくコミュニケーションが取れない場合などに、コールセンターのオペレーターが電話を介して通訳を行うサービスです。

- 【対象】東北6県および新潟県の観光関係事業者
- 【利用料金】無料 ※ただし、通話料金は利用者負担
- ※ただし、大型小売店、医療機関は対象外
- 【サービス受託事業者】株式会社テレコメディア
- 【対応言語】日本語⇄英語・中国語・韓国語
- 【申込】お電話またはFAXでお問い合わせください。
- 【利用時間】24時間365日対応
- 申込書をお送りします。



「旅東北NEWS」VOL.025 2020年10月13日発行
【発行】一般社団法人東北観光推進機構
仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階
【TEL】022-721-1291 【FAX】022-721-1293
【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp

「東北観光推進機構」公式Facebook

東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！

<https://www.facebook.com/tohokukanko/>

「いいね」「シェア」をよろしくお願ひします！